

## 令和6年度組織目標 知事協議概要

部 局 名	土木交通部
日 時	令和6年(2024年)4月19日(金) 14:50~15:45
場 所	特別会議室
出 席 者	知事、江島副知事、大杉副知事、知事公室長、総合企画部長、総務部長、総務部管理監 土木交通部長、理事(公共事業調整担当)、次長(事務)、次長(技術)、技監(魅力ある公園・まちづくり担当)、流域政策局長、監理課長、技術管理課長、交通戦略課長、県東部地域公共交通支援室長、道路整備課長、道路保全課長、都市計画課長、住宅課長、建築課長、流域政策局副局長(兼広域河川政策室長)、流域治水政策室長、河川・港湾室長、水源地域対策室長、砂防室長

発言者	発言概要
総務部長	地域交通計画の骨子策定にあたっては、交通税を含めた必要な財源のあり方検討など総務部として十分連携させていただく。
交通戦略課長	本日、キックオフとして市町の担当者に参集いただいて地域交通活性化協議会の幹事会を開催しており、税政課にも出席いただいている。総務部と連携して進めていく。
知事公室長	以前から事業量の増加や技術職員の採用難があり、職員に負担がかかっていた。チャットの活用などされるが、健康経営の観点から職員の負担軽減につながる省力化や効率化についてお聞かせ願いたい。また職員が除草作業中に亡くなったこともあったため、廃川敷の管理についても予算等配慮願いたい。
土木交通部長	モチベーション向上のため、忙しい中であっても外の空気に触れることが大事なので、若手を積極的に庁外の研修に参加させたい。また、陳腐化した業務をスクラップできないか、理事等に問題提起し、検討してもらっているほか、各所属長には部下職員から困っていることがないか丁寧に聞いてあげてほしいと伝えているところ。
知事	令和元年10月に土木交通部の再任用の方が、炎天下で一人で除草作業中に亡くなられたことがあった。毎年お宅を訪ねご遺族とお話をしている。職員の安全を図るプロジェクトを作っているが、必要な体制や予算の確保、機械など確保していきたい。皆さんも認識しておいてほしい。
土木交通部長	令和7年度の体制に関し、解散する土地開発公社の機能の引継ぎや盛土規制法の規制開始による業務量の増大がある。総務部等ともしっかり意思疎通していきたい。
総合企画部長	コンクリートへのバイオ炭混入によるCO2固定は興味深い。公社関係は、連携してよろしく願います。また高専では、資材や人件費が高騰する中で積算や予算対応に苦慮しており、ご協力をお願いしたい。
大杉副知事	「THEシガパーク」や「天津港活性化」は、個人や民間事業者のやってみたいとの思いの受け止め先、また独自に動かれていることを巻き込むなど、他部局とともに広げていかれるよう期待している。教育委員会との連携では、うみのこ、やまのこの比較として、やまのこは琵琶湖環境部が学校現場に負担をかけないよう事業構築している。土木交通部としても、やまのこパターンでお願いしたい。
江島副知事	不易流行のどちらの取り組みもあり、たいへんだと思うとともに楽しみでもある。また女性の課長が3人となった。建設業全体でも増えているので、それぞれ活躍を期待する。うみのこ、やまのこ、たんぼのこ、ホールのこ、つちのこ、その中に土木交通部関連がない。けんせつみらいフェスタやいなすまどぼっくが関連施策であるが、子どもたちに興味関心をもってもらいたい。バイオ炭は、造林公社問題を抱える中で、木を活用する話であり期待している。
土木交通部長	子ども施策に関しては、例えば大規模工事の受注企業にお声掛けし、現場見学会はもとより「こどもベース」を開催してもらえないか働きかけていきたい。バイオ炭は、現状では製材所で発生する端材やおがくずを利用する等、規模は大きくない。費用の面も課題。まずは需要を増やしていくことが重要であり、本県が先駆となりたい。
江島副知事	この道は「バイオ炭でできています」などPRできるようになればよい。
土木交通部長	例えば、治水事業そのものは気候変動の適応策であるが、その工事にカーボンネガティブの材料を使用すれば緩和策としての効果も発揮する。これにより県として気候変動対策に積極的との姿勢も発信できる。
技監	THEシガパークでは、利用者目線で他部局との縦割りを一体的に進めてまいりたい。
知事	他の部局の公園を引っ張って行ってほしい。
次長(技術)	木材利用としてチップ舗装は本県ではあまり採用されていないが、石などより安いので公園等での導入は考えられる。職員に対し「一人じゃないことを実感できる組織、仕事を楽しくてできる組織」を目指したい。
理事	当部では様々な事業を前向きに進めているところであるが、技術人材の不足が大きな課題である。本県の技術職員の魅力発信やルート活動に力をいれるとともに、採用試験について総務部や人事委員会に協力を得ながら、技術人材の確保に努めてまいりたい。

次長（事務）	地域交通施策について、広く薄く県民に受益があるもの、先進事例を作るような集中投資、未来が見えるような新技術の研究や実証実験といったもののバランスをどのようにとるのか考えていきたい。また、技術職だけでなく、事務職も頑張っているの、やりがいを感じていただくよう取り組んでいきたい。
土木交通部長	当部では事務職も活躍してくれているが、現場に行く機会が少ない。本年度は事務職を対象にした現場見学会を開催する等、事務職が携わった用地買収や工事入札契約等を経て、こういったインフラが整備されているのかを実感してもらいたい。
知事	<p>意欲が感じられ心強い。県政の駆動に期待したい。同時に、盛土や道路、河川、砂防、交通、営繕など着実に安全対策を講じないといけない。人も予算も目配りしたい。土木はいっぱい現場があるので、部長、理事、次長、局長で手分けして、5月中に1回全部回って皆がどんな顔して仕事しているのか見ていただき、知事に激励してほしいところなど伝えてほしい。</p> <p>水辺の楽校や現場でのPR、公用車、いなずまどぼっく、バイオ炭など大いに新しいことに取り組んでいこう。特に流域政策では、流域治水条例10年の検証も必要だが、次の10年でどこまでいくのか考えよう。ダムも作るが、川の中と外、山も含めて考えてもらいたい。港は楽しみ。検討会も港オアシスもよいが、港までと港からをどうしていくのか。大津港だけではない視点も必要となってくるかもしれない。</p> <p>道路では、災害で塞がったときは啓開しなければならないが、啓開しなくてもよい道路を考えてほしい。また、使う人が負担する道路財源も考えてもらいたい。</p> <p>THEシガパークは走り出したのでよろしく願います。入札や契約のミスには留意しよう。人がいないと事業が進まないの、力を合わせて頑張っていこう。</p>